

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/19 （5/12との比較）	5/19 （5/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.48% （▲0.10）	82.36円 （▲0.40%）	+2.0% 2016年4Q	0.50%	CPIは市場予想を下回る一方、小売売上高は市場予想を上回るなどまちまち。米国政治の先行き懸念が強まる中、米国国債利回りの動きに連れる形で、国債利回りは低下。原油価格が上昇する中、カナダドルは対円で下落。	中銀は景況感の改善度合いを探る環境下で、政策金利を据え置くと予想。各国政治経済動向が意識される中、引き続き国債利回りはレンジ内での推移を予想。OPEC（石油輸出国機構）の原油減産にかかわる動向も注目。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	11.01% （+1.42）	34.18円 （▲5.83%）	-2.5% 2016年4Q	11.25%	テメル大統領の汚職関与疑惑を巡る報道などを受けて、同国の政治リスクが再燃。市場では同国資産からの逃避が加速し、国債利回りは上昇。レアルは対米ドル、対円ともに下落。	政治リスクの再燃を背景に、これまで相場をけん引してきた財政改革への期待が後退。動向には注視が必要。中銀による介入などが下支えすると見込んでも、債券・為替市場は下値を試しやすい展開を想定。
	Ba2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.14% （+0.02）	5.94円 （▲1.31%）	+2.7% 2017年1Q	6.75%	中銀は政策金利を0.25%引き上げ、6.75%とした。市場予想は据え置きが優勢であったことからややサプライズ。国債利回りは下落。ペソは対円で小幅上昇。	中銀は会合後の声明文でインフレへの警戒感を示唆。更なる追加利上げも見込まれ、債券利回りには上昇圧力のかかりやすい展開を想定。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉を8月に見据え、ペソは神経質な展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/19 (5/12との比較)	5/19 (5/12との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.48% (▲0.16)	83.00円 (▲0.88%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	雇用者数と失業率がともに市場予想を上回る良好な内容。世界的に金利が低下する中、国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で下落。格付機関S&Pは格付けを据え置いた。	景気先行指数や建設完工作数の公表や、中銀副総裁の講演などが予定され、今後の金融政策を見る材料に。欧米や中国の政治経済動向にもらみながら、国債利回りとおーストラリアドルは一進一退の動きを想定。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.84% (▲0.13)	77.04円 (▲1.04%)	+2.7% 2016年4Q	1.75%	小売売上高が市場予想を上回り、乳製品入札の落札価格も前回から上昇した一方、サービス業指数は下落し、生産者物価の伸び率も鈍化。ニュージーランドドルは対円で下落。主要国市場の影響から、国債利回りは低下。	先週発表の経済指標が強弱入り交じる内容となり、緩和的な金融政策が続くとの市場の見方を変えるには至らず。9月に予定される国政選挙を控え、どの程度景気拡張的な内容となるかが注目材料。
	Aaa	 金利上昇		 景気回復	 利上げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.53% (▲0.08)	13.28円 (+0.28%)	+2.6% 2017年1Q	0.50%	GDP（国内総生産）は、民間消費を含め広範に良好な内容となり、中銀の想定よりも高い成長率に。原油価格が上昇した影響も加わり、ノルウェークローネは対円で上昇。他の主要国市場の影響を受け、国債利回りは低下。	GDPは好調だったものの、利上げ観測が強まるためにはその他の経済指標の改善を確認する必要。ノルウェーの金融市場はOPEC（石油輸出国機構）総会を受けた原油価格動向の影響を強く受ける見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/19 (5/12との比較)	5/19 (5/12との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.61% (▲0.08)	8.41円 (▲0.94%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	小売売上高は市場予想に反して前年比でプラスに転換。米国の政治的混乱を受けて債券市場全般で利回りが低下する中、国債利回りは低下。ランドは対米ドルで上昇、対円では下落。	インフレ統計や政策金利などの発表を予定。インフレは鈍化基調ながら、中銀総裁は緩和的な金融政策へのシフトを否定。政治的な不透明感の残存から債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	 金利上昇	 為替下落	 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.73% (▲0.09)	0.84円 (▲1.76%)	+5.0% 2017年1Q	4.75%	政策金利は据え置き。中銀は声明で、輸出と投資が成長をけん引し、資本流入と格上げ期待がルピアをサポートしていると指摘。ルピアは対米ドルでほぼ横ばい、対円では円高の流れにつれて下落。国債利回りは低下。	格付機関S&Pがインドネシアを投資適格級に格上げしたことで、同国への資金流入が増加するとの期待が高まっており、インドネシアの資産市場は総じて底堅い推移になると予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.85% (▲0.02)	1.72円 (▲2.60%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	貿易収支は赤字幅が拡大、前年比で輸入の急増が要因。米国の政治的混乱を受けて債券市場全般で利回りが低下する中、国債利回りは小幅低下。ルピーは対米ドル、対円ともに下落。	主要な経済指標の発表などはなし。7月に導入を控えるGST（物品・サービス税）について、財務相が「準備は概ね完了した」と発言。国内改革の進展が好感されやすく、債券・為替市場ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

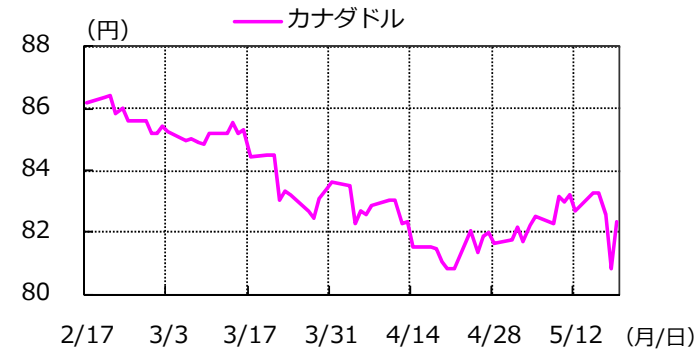
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

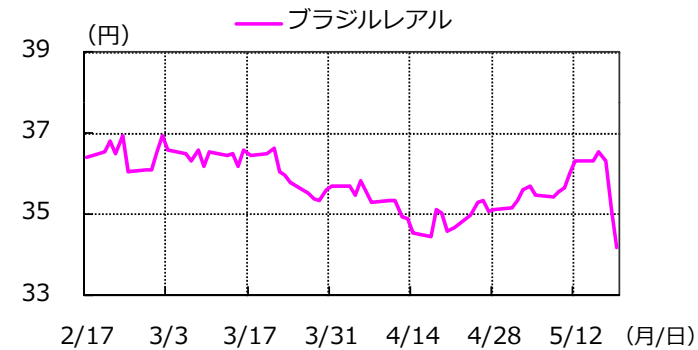
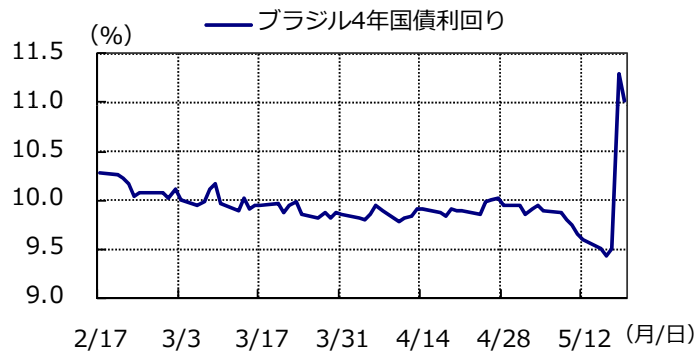
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/17～2017/5/19

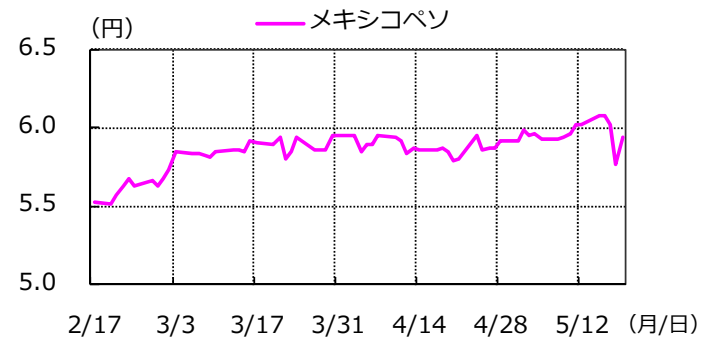
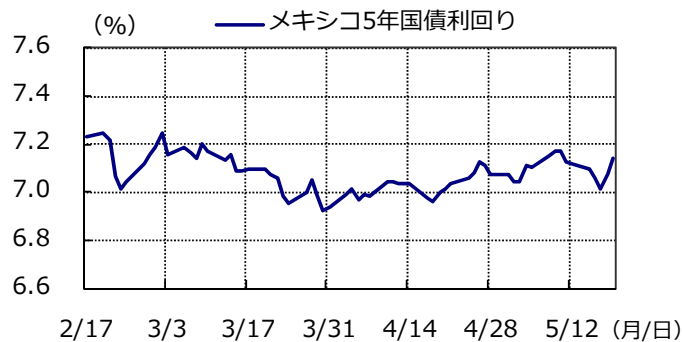
カナダ



ブラジル



メキシコ

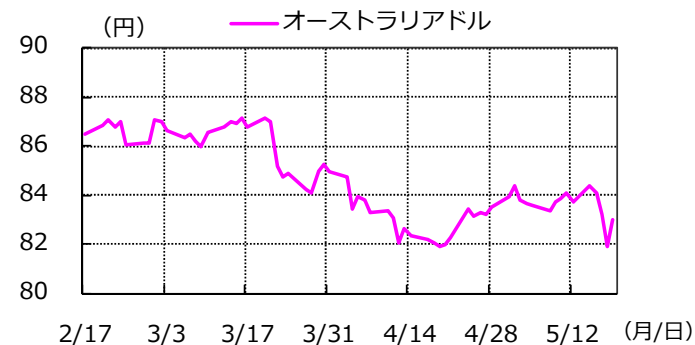
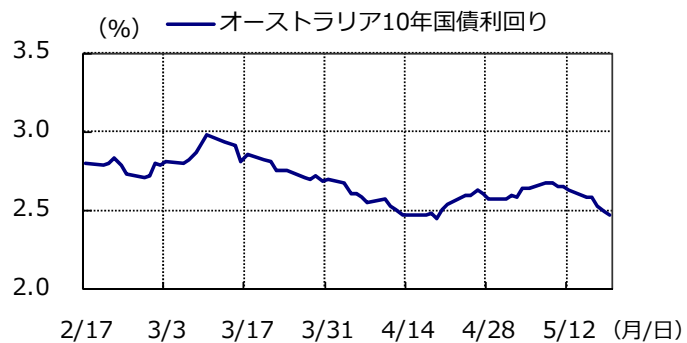


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

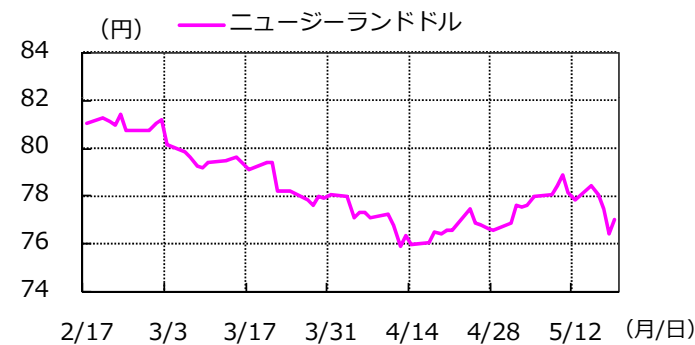
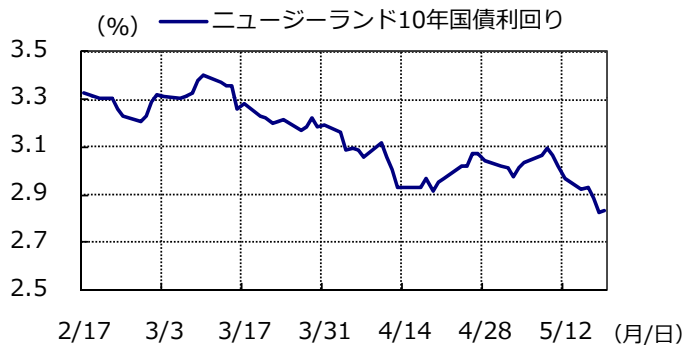
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/17～2017/5/19

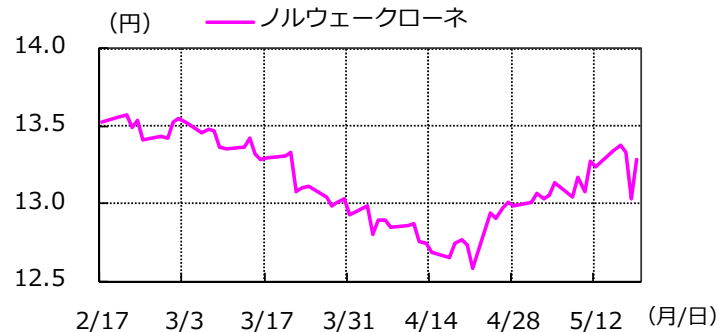
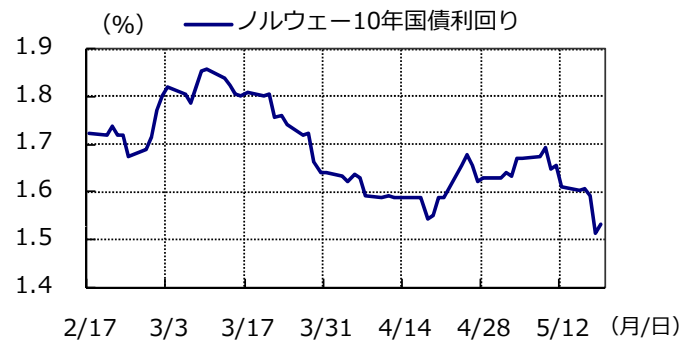
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

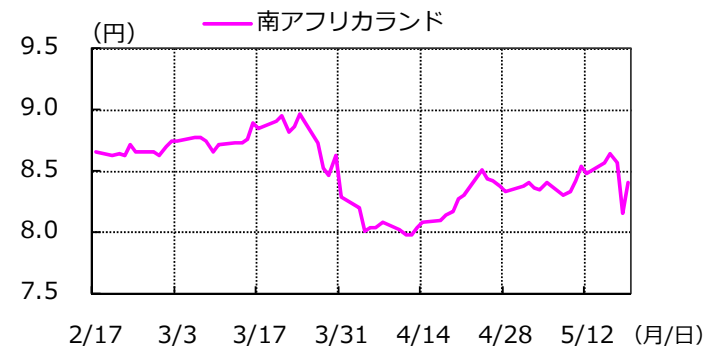
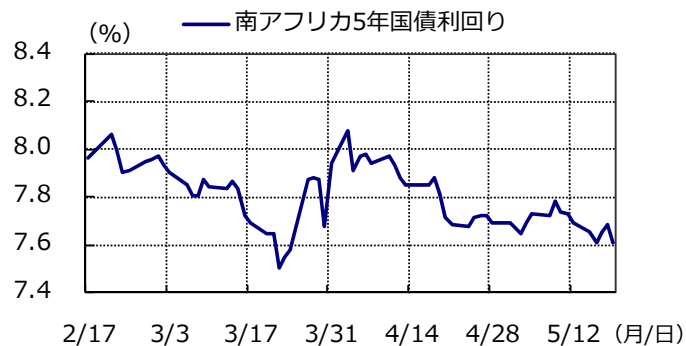


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

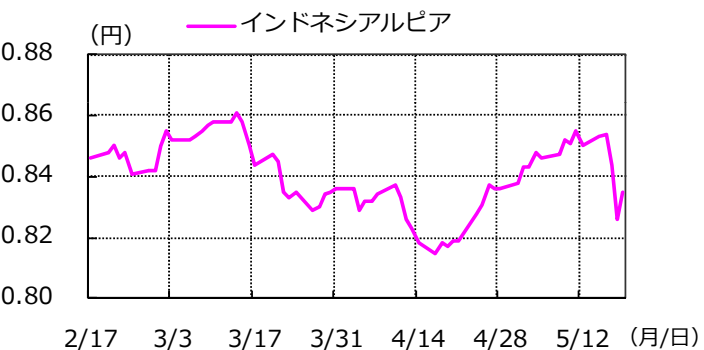
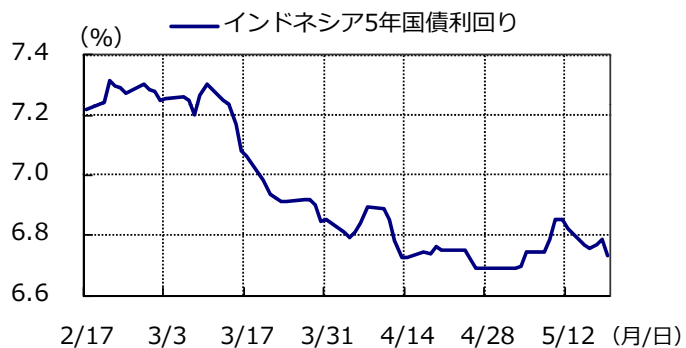
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/17～2017/5/19

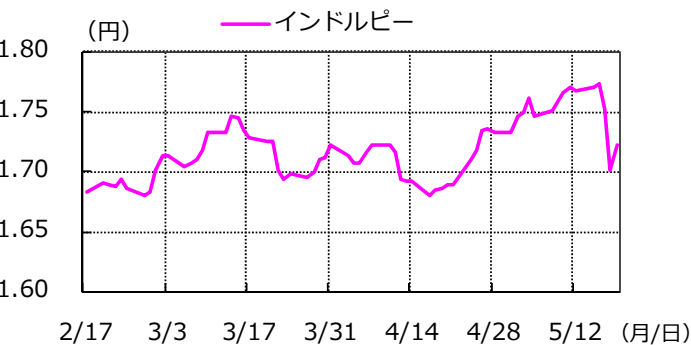
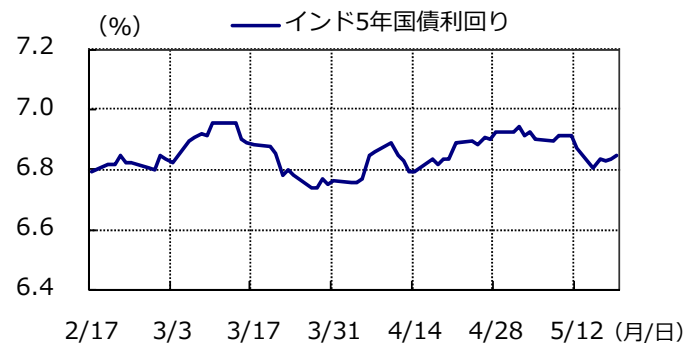
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。